

2023年1月20日

参加者募集 英語による研究ワークショップ

Call for Participation Workshop on International Higher Education Research Hosted by Japan Association of Higher Education Research (JAHER)

日本高等教育学会では、会員の研究活動及び国際的な活躍を支援するために、英語による研究発表会を実施します。本発表会は、英語での研究発表及び討論を行う機会を皆様に提供し、研究成果を披露し意見交換を行うことで研究活動の一層の充実を図ることを趣旨とします。

2023年2月4日（土）に、下記のプログラムにより、5名の研究者が発表します。各発表に対して国際委員会委員がコメントを行います。

対面でもオンラインでも参加可能なハイフレックス形式で開催します。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

<参加資格>

どなたでも参加可能です。

<開催時期と開催方法>

2023年2月4日（土）13:00～16:00

終了後、引き続き、参加者間の懇談の場を設けます（任意参加）。

ハイフレックス形式で開催します。発表者も対面、オンラインいずれでも参加可能です

- ・対面参加の場所：東京大学本郷キャンパス赤門総合研究棟 A200 室
- ・オンライン参加：Zoom

本発表会は、公開イベントです。

<参加申込方法>

下記の Google Form から 2023年2月2日 18:00 までにお申し込みください。後日 Zoom の URL をご案内いたします。参加は無料です。

- ・参加申込フォーム：<https://forms.gle/F8YjdPEVzKof9LNyA>

<プログラム>

13:00-13:05 開会挨拶

13:05-13:35 第1報告

程文娟 Wenjuan Cheng (広島大学大学院生)

“Factors contribute to doctoral students' language choice for academic publishing in Japan”

「日本の博士学生は研究成果を発表する言語をどのようにして選ぶのか」

コメント：杉本和弘 (東北大学)

13:35-14:05 第2報告

猿田 静木 Shizuki Saruta (広島大学大学院生)

“Motivation and Imagined Communities: What Makes Foreign-born Researchers Decide to Learn Japanese? “

「日本語学習動機と想像コミュニティ：外国人研究者はなぜ日本語を学ぶのか？」

コメント：王帥 (東京大学)

14:05-14:35 第3報告

孟 碩洋 Shuoyang Meng (東京大学大学院生)

“Chinese University Students’ Decision-making about Studying in Japan under COVID-19”

「コロナ禍で中国人留学生はどのようにして日本に滞在するか否かを決めたのか」

コメント：李敏 (大学改革支援・学位授与機構)

(休憩)

14:45-15:15 第4報告

柳田 和哉 Kazuya Yanagida (京都大学大学院生)

“Competence-Based Education and Liberal Aims of Higher Education”

「コンピテンシーベース教育と高等教育のリベラルな目的」

コメント：福留東土 (東京大学)

15:15-15:45 第5報告

馬 晨崢 Chenzheng Ma (広島大学大学院生)

“A Phenomenographic Analysis of Undergraduates' Critical Thinking Experiences in Japan”

「日本における大学生の批判的思考概念」

コメント：佐藤万知（京都大学）

15:45-15:55 総評

15:55-16:00 閉会挨拶

16:00-17:00 情報交換会(自由参加)

<使用言語>

英語

<発表時間とコメンテーター>

一人の持ち時間は30分で、発表時間は15分、質疑応答は15分です。
当日は発表内容に対してコメンテーターによるコメントがあります。

<共催>

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター

<問い合わせ先>

国際委員 王帥（東京大学）

osui@iss.u-tokyo.ac.jp